

授業評価アンケート

2022年度 前期

授業コード : 221075

授業科目名 : 解剖学実習

履修者数 : 30名

担当教員名 : 白澤 信行

回答者数 : 28名

学部 :	医療福祉	25	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	3						
学科専攻 :	理学療法	0	作業療法	25	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	3						
学年 :	1年	23	2年	0	3年	0	4年	0
							無回答	5

設問文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均																
A: 授業への取り組みについて																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	21	3	0	0	1	4.72	4.57																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	12	7	5	3	1	3.93	4.22																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	3	4	10	5	6	2.75	4.17																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	5	9	7	3	4	3.29	3.64																
B: 授業内容・方法・成果について																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>25</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>1</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>0</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>0</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>0</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>0</td> <td>無回答</td> <td>3</td> </tr> </table>							対面授業	25	遠隔(meet)	1	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0	遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	3
対面授業	25	遠隔(meet)	1	遠隔(音声ファイル)	0	遠隔(動画ファイル)	0																
遠隔(チャット)	0	遠隔(課題)	0	遠隔(テスト)	0	無回答	3																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	11	10	6	1	0	4.11	4.53																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	5	13	5	5	0	3.64	4.33																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	7	10	6	4	1	3.64	4.03																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	3	14	6	5	0	3.54	4.31																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	6	7	13	2	0	3.61	4.31																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	4	11	11	2	0	3.61	4.31																
C: 授業の全般的印象																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	5	14	6	3	0	3.75	4.48																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	5	15	7	1	0	3.86	4.39																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	6	12	9	1	0	3.82	4.40																

学生へのメッセージ

解剖学実習は解剖学1で学び覚えたことを基礎として課題を完成させ、実習では準備した課題に沿って骨や筋の位置と役割を標本を用いて学びました。また、実習後には実習で得た知識を基にして課題を完成させ、担当の先生に見てもらいました。この過程は作業療法士になるための基礎でした。臨床では患者さんの病状に沿った治療の課題を考えて準備して患者さんに対応します。準備なしに突然に思いつきで治療することはありません。治療中は患者さんに治療方針を説明し、治療後は結果を上司や同僚に説明報告します。当然のことながら質問があったら答えなければなりません。臨床では毎日行なわれる治療過程です。課題を確実に自分のものにならなければ、実習は進みませんし、患者さんや先生の質問に答えられなければ治療が正しいかが判りません。もう終わってしまいましたが臨床実習でも

